

宮廷文化の再発見—「みやび」の源流—

(京都産業大学名誉教授) 所 功

<http://tokoroisao.jp/>

本論の前に—60年近い研究の歩み—

- (1) 名古屋大学
- | | | | |
|-------|---|--|---|
| 名古屋大学 | [| 教養部…昭和35年(1960)度～(八高跡)、指導教官 佐々木隆美教授(日本文化史) |] |
| | | 文学部…昭和37年度～(名城八師団跡)、指導教官 [中村栄孝教授(日鮮関係史) | |
| | | 大学院修士課程…昭和39年度～(千種新学舎)、 [弥永貞三助教授(日本古代史) | |
- (2) 個人研究
- | | | | |
|------|---|---|---|
| 個人研究 | [| 卒論「三善清行とその時代」(昭39)→人物叢書『三善清行』(昭45)など |] |
| | | 修論「令制国司の変質過程」(昭41)→「国衙官長の概念と実態」(昭45)など | |
| | | 博論『平安朝儀式書成立史の研究』(昭60刊)→法学博士(慶応大学、日本法制史、昭61) | |
- 共同研究
- | | | | |
|------|---|--|---|
| 共同研究 | [| 「國書逸文研究会」(昭52～)→『新訂増補 國書逸文』(平7)など |] |
| | | 「後桜町女帝宸記研究会」(平10～)→京都産業大学『日本文化研究所紀要』など | |
| | | 「皇室関係資料研究会」(平25～)→モラロジー研究所『モラロジー研究』など | |
- (3) 宮廷文化の研究：①単著・②編著・③史料校注(上記以外)
- ①『伊勢の神宮』(昭48)、『日本の年号』(昭52)、『日本の祝祭日』(昭61)、『年号の歴史』(昭63)、『国旗・国歌の常識』(平2)、『京都の三大祭』(平8)、『皇室の伝統と日本文化』(平8)、『宮廷儀式書成立史の再検討』(平13)、『天皇の人生儀礼』(平13)、『菅原道真の実像』(平14)、『皇位継承のあり方』(平18)、『歴代天皇の実像』(平21)、『天皇の「まつりごと」』(平21)、『皇室に学ぶ徳育』(平24)、『皇室典範と女性宮家』(平25)、『伊勢神宮と日本文化』(平25)、『象徴天皇「高齢譲位」の真相』(平29)など
- ※『未刊論考デジタル集成』全17冊のI期分：①『古代ヤマト国家形成史』、②『平安王朝の法制と政治』、③『平安宮廷の文化と史料』(令3)など
- ②『皇室事典』(平21)、『日本年号史大事典』(平26)、『京都の御大礼』(平30)、『昭和天皇の大御歌』(平31)
- ③『三代御記逸文集成』(昭57)、『建武年中行事註解』(平元)、『北山抄』(平4)、『西宮記』(平5)、『近代大礼関係の基本史料集成』(平30)、『三善清行の遺文集成』(平30)、『光格天皇関係絵図集成』(令2)など

(4) 「宮廷文化」基本認識

- ・宮廷…君主(国王・天皇)の居所(王宮・皇宮)／ミヤコ…宮(御家・宮殿)のある所(京・都)
- ・文化…colere→culture(当地で生育する知恵の成果) ↔ 文明(何処でも通用する知識の成果)
- ・宮廷文化…公的・私的な儀式・行事、洗練された衣食住、諸芸能・著作・言動など

本論 A 前近代の宮廷文化—京畿を中心に—

(5) 「大王」中心の「ヤマト」朝廷

- ・大王（おおきみ）…各地の有力な諸王（きみ）の統合者／朝廷…朝集する殿庭

ex 崇神天皇（第 10 代）の磯城（しき）瑞垣宮…奈良県桜井市の纏向（まきむく）遺跡宮殿遺構（3 C 前半）

- ・倭（わ=我）→大倭 ヤマト（北九州の山戸→畿内の王都名→日本列島の国名）=大和

(6) 「天皇」中心の「日本」宮廷

- ・天皇（すめらみこと）…澄める命+統べる尊 『大宝令』天子（祭祀）、天皇（国政）、皇帝（外交）

ex 持統女帝（第 41 代）の藤原宮…奈良県橿原市の藤原宮跡（694～710）=唐風宮殿

- ・日本（ひのもと、にちほん→につぼん）…『大宝令』（701）日本（外交）、大八州（内政）

(7) 「平安京」の「大内裏」と「内裏」

- ・平安京…『日本後紀』延暦 13 年（794）10 月 22 日「車駕（第 50 代桓武天皇）新京に遷りたまふ」

11 月 8 日「謳歌の輩…平安京と号す」／15 年(796)正月 1 日「皇帝、大極殿に御して朝賀を受けたまふ」

- ・大内裏…大極殿・朝集殿・豊楽殿と二官八省など／内裏…紫宸殿・清涼殿・温明殿（内侍所）など

(8) 宮廷儀式の唐風と和様の併用

ex 『日本後紀』弘仁 11 年（820）2 月 1 日「朕（第 52 代嵯峨天皇）大小の諸神事、及び季冬に諸陵へ奉幣するには帛衣（白衣）を用ふ。正朝（元日朝賀）を受くるには袞冕十二章（唐風礼服）を用ふ。（毎月）朔日に朝を受け、日に政を聴き、蕃国使を受け、奉幣及び大小の諸会には黄櫨染衣（和様束帯）を用ふ。……」

(9) 天皇は神事優先・仏事尊重・諸芸能兼習

ex 『宇多天皇御記』仁和 4 年(888)10 月 19 日「我が国は神国なり。よりにて毎朝、四方の大中小天神地祇を敬拝す。敬拝の事、今より始めて、後一日も怠ることなし」／寛平 2 年(890)元日「四方拝……后土及び五星を拝す」

ex 順徳天皇（第 84 代）『禁秘抄』（1221）「およそ禁中の作法、神事を先にして、他事を後にす。旦暮敬神の叡慮、懈怠無し。……」「天子は専ら正法を以て務めと為す。則ち仏法の興隆なり。……」

「諸芸能の事、第一は御学問なり。それ学ばざれば……政を能くし太平を致す者いまだあらざるなり。……」

第二は管弦……和歌は……我国の習俗なり。……詩情・能書など同じく殊に能きことなり。」

ex 『古今伝授』二条為世～東常縁～三條西実隆～細川幽斎→智仁親王→後水尾天皇（御所伝授）～

(10) 徳川将軍家と御三家の好学・朝廷援護

ex 『禁中并公家諸法度』（1615）「天子諸芸能の事、第一御学問なり。……」／紅葉山文庫(1602)→国立公文書館

ex 徳川家康の駿河御譲本（約 1 万点）→尾張義直に約 3000 点・蓬左文庫(1616)～14 代・17 代義勝（勤王）

ex 水戸光圀『大日本史』編纂・彰考館(1657)、『礼儀類典』編纂（1710）～9 代斉昭（勤王）

ex 安永 9 年（1780）光格天皇（10 歳）、神村忠貞著・河村秀俊補『御即位次第略解』（名古屋市蓬左文庫所蔵）

本論B 近現代の皇室文化—国内外に波及—

(11) 明治維新の復古と変革

・「王政復古」の大号令（慶応3年12月9日）「徳川内府（内大臣慶喜）、従来御委任の大政返上、將軍職辞退……。これにより……**王政復古……諸事、神武創業の始に基き……**奉公致すべく候事」

・「五箇条の御誓文」（慶応4年＝明治元年〈1868〉3月14日）「**我国未曾有の変革を為さんとし、朕（第122代明治天皇）……天地神明に誓ひ、大いに斯の国是を定め、万民保全の道を立てんとす。……**」

ex 京都御所で「**明治御即位新式**」（8月27日）……唐風礼服→黄櫨染御袍、殿庭の幡旗→櫛幣旗

ex 「明治」改元（9月8日）……再三改元→「以後、**一世一元**（一代一号）以て**永式**と為す」

ex 「**東京**」**奠都**……江戸→東京と改称（7月17日） 天皇東幸（明治2年3月28日、東京城＝「皇城」）

中央官庁移転（～明治4年8月）／**皇城吹上御苑で大嘗祭**（4年11月17日）

ex 「**改曆**」……明治5年12月3日（旧曆）＝6年元旦（新曆AD1873）、「皇紀」で閏年布告

ex 洋風の明治宮殿と和様の宮中三殿完成（明治22年）→戦災焼失により新宮殿（昭和43年）

(12) 明治の「皇室典範」と皇室令制

・「皇室典範」制定（明治22年2月11日）「**即位の礼及び大嘗祭は、京都に於て之を行ふ**」

・皇室令制（明治41年・42年／大正15年）……①「**皇室祭祀令**」②「**登極令**」③「**摂政令**」④「**立儲令**」

⑤「**皇室成年式令**」⑥「**皇室親族令**」（皇室婚嫁令を含む）／⑦「**皇統譜令**」⑧「**皇室儀制令**」⑨「**皇室喪儀**

令」⑩「**皇室服喪令**」⑪「**皇室陵墓令**」など

ex **大正・昭和の大礼**……皇居で踐祚式・改元→京都で即位礼・大嘗祭→神宮・山陵に親拝

(13) 戦後の「日本国憲法」と「皇室典範」

・「日本国憲法」（昭和21年11月3日公布）……1.「**天皇（The Emperor）は日本国の象徴（the symbol）……**

7.「**天皇は、内閣の助言と承認により……国事に関する行為を行ふ**」……「十 **儀式を行ふこと**」

・「皇室典範」（昭和22年1月16日公布）……24.「**皇位の継承があったときは、即位の礼を行う**」

25.「**天皇が崩じたときは、大喪の礼を行う**」

※「**皇室経済法**」（同上）……7.「**皇位とともに伝わるべき由緒ある物は、皇嗣がこれを受ける**」

※宮内府の依命通牒（5月3日）「**新しい規定ができていないものは、従来の例に準じて事務を処理すること**」

※「**元号法**」（昭和54年7月20日公布）「**元号は政令で定める。元号は、皇位の継承があった場合に限り改める**」

ex **平成・令和の大礼**……皇居で踐祚式も即位礼・大嘗祭も実施（改元は内閣で政令布告）

天皇陛下即位祝賀御列の儀（パレード）……平成2年11月12日（馬車）／令和元年11月10日（自動車）